

郡山支部活動報告：H23 第4回

[平成23年7月19日発信：井上]

■ 城下町大和郡山の建物探訪（活動予定は毎月第1土、第3日曜日）

郡山市街地の文化的な価値ある建築物、伝統的な様式を持つ建築物（町屋等）を掘り起こし、その建物の活用策、地域の伝統文化を活かしたまちづくりのための基礎調査を進めています。

私達建築士は、まず箱本十三町の全域の調査を通じ、町づくり活動に参加しようとしています。昨年度の調査地は：本町・塩町・魚町・北鍛冶町・中鍛冶町・南鍛冶町・紺屋町・洞泉寺町
今年度は6月より：堺町・藪町・新中町・奈良町・雑穀町・茶町・綿町・今井町・豆腐町の計17自治会の調査を終えています。

※箱本十三町は自治会毎に調査を行っていますので総数は膨らみます。

■ 7月17日（第3日曜日）

- ・9時に三の丸会館に集合、3グループ分けて、下記3町を調査1,2の要領で調べた。

調査場所：材木町・東矢田町・車町・西矢田町・新紺屋町・大工町

Aグループ 材木町・東矢田町：澤田 貢・白鳥全彦・仁田晴夫・井上慶治、

Bグループ 車町・西矢田町・新紺屋町：立辻利治・一色菊雄・亀岡俊典

Cグループ 大工町：和田 修・折目貴司・徳本雅代

- ・調査1、建物用途別分類図作成
- ・調査2、伝統的な様式を持つ建築物の外観撮影と建物情報を町屋等調査シートに記入
- ・昼食後、パソコンヘッダー入力を行う。
- ※ 今日の調査地は、市内南部方面の中心部から東端部で都市計画道路藪町線（18m）を挟む東西の六町である、極暑の街の調査で、身体が悲鳴をあげるが、昼食の鰻弁当で息を継ぐ。
- ※ 矢田町の仕出屋さん、ご主人が生まれた年にこの家が建った（御歳80）もう元気が無いと言われながら、金魚柄の夏、冬暖簾を見せてくれ、郡山城大手門復元時の事を熱っぽく語られる。和菓子屋さんでは、昔は繁盛したがと・・・落雁の型押しに精を出されている。未だ未だ、この街には、引き継がれてきた生活が、その建物と共にある。
- ※ 材木町は敷地が広く東端にはお城の外濠に面しており、木材を荷揚げした商いの跡が残る（そのことが、好立地とマンションが2棟ある。）
矢田筋に面した、大きな醤油製造所が解体中である。
- ※ 材木町の薬園八幡神社の東隣の、細い路地奥の小さいお寺 真言宗御室派「薬園寺」では、解体修理中、素屋根で覆われ、屋根瓦を撤去した状態の様子を見せていただいた。
20年前までは無住寺の荒寺であつたが、お堂が真言密教の形態が良く残っていると、解体修復がかなったが、あまり知られていないお寺なのだと話される。
- ※ 当日14時から、登録有形文化財 杉山小児科医院で **あんでいあ〜も** 主催による **小さな夏のコンサート〜イタリアの香り〜**を40数人の参加者と共に夏の一刻を過ごす。
演者は ソプラノ永石陽子 フルート桑名明子 ピアノ杉山満美子
この小さなコンサートは、秋期、冬期と開催される予定とのことである。
少しずつはあるが、この街の方向性が感じられる。

■ **案内** 次回は8月6日（第1土曜日） 9：00～16：00

集合場所 三の丸会館 今日までの調査地のパソコン入力等の整理を行う。

■ **案内** 支部定例会は7月21日（木曜日） 18：00～

集合場所 三の丸会館 議題 第37回親子まつり参加について

調査地検討会議	パソコン入力中
三の丸会館工作室	同左
	
撮影日 平成 23 年 7 月 17 日	撮影日 平成 23 年 7 月 17 日
東矢田町の角地	矢田筋に面した材木町にある
入母屋屋根の堂々たる 2 階建	薬草園に由来する 薬園八幡神社
	
撮影日 平成 23 年 7 月 17 日	撮影日 平成 23 年 7 月 17 日
薬園八幡神社東接する小さな薬園寺	同左
解体修復中の状況 傾斜が激しい	屋根瓦取外した状況 幅広の野地板が見える
	
撮影日 平成 23 年 7 月 16 日	撮影日 平成 23 年 7 月 16 日

材木町が接する郡山城外濠	本町の杉山小児科医院
外堀緑地として整備されている	大正 10 年頃の建築 5 個のピナクルが端正
	
撮影日 平成 23 年 7 月 17 日	撮影日 平成 23 年 7 月 17 日
ちいさな夏のコンサート 於 杉山サロン	同 左 主催：あんでいあ〜も
ピアノ 杉山満美子・ソプラノ 永石陽子	フルート 桑名明子
	
撮影日 平成 23 年 7 月 17 日	撮影日 平成 23 年 7 月 17 日
杉山サロン（旧小児科待合室での風景）	同左 窓建具状況
反射音を気にしたが 音響は鮮明である	スタンドグラスは、杉山医師作品
	
撮影日 平成 23 年 7 月 17 日	撮影日 平成 23 年 7 月 17 日